

令和6年度 学校自己評価

上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校

昨年度比 (A+B評価) +5%以上 -5%以上

1. 結果と考察

※グラフ左から A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：ややあてはまらない D：あてはまらない

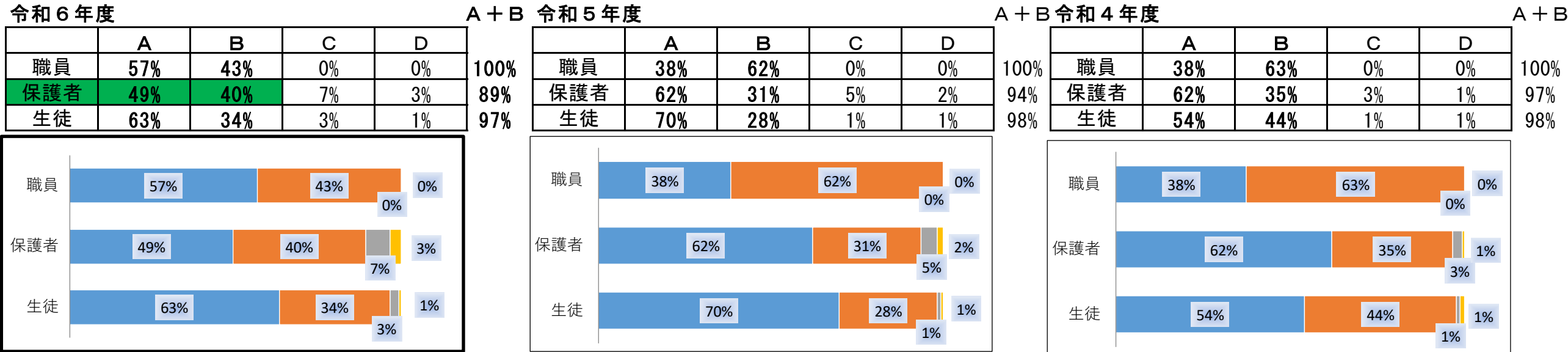
【質問項目1】 集団との関わり

【職員】 ①学級活動、生徒会活動、行事等で、生徒一人ひとりに役割を持たせることで、生徒が主体的に級友とかかわって活動しています。

【保護者】①授業参観や生徒(お子さん)の話から、生徒(お子さん)は級友と仲良くかわりながら学校生活を送っていると感じる。

【生徒】 ①学級活動、生徒会活動、行事等では、自分の役割を果たしながら、クラスのみならず、協力し合っています。

	生徒	保護者	職員
調査数	155	150	23

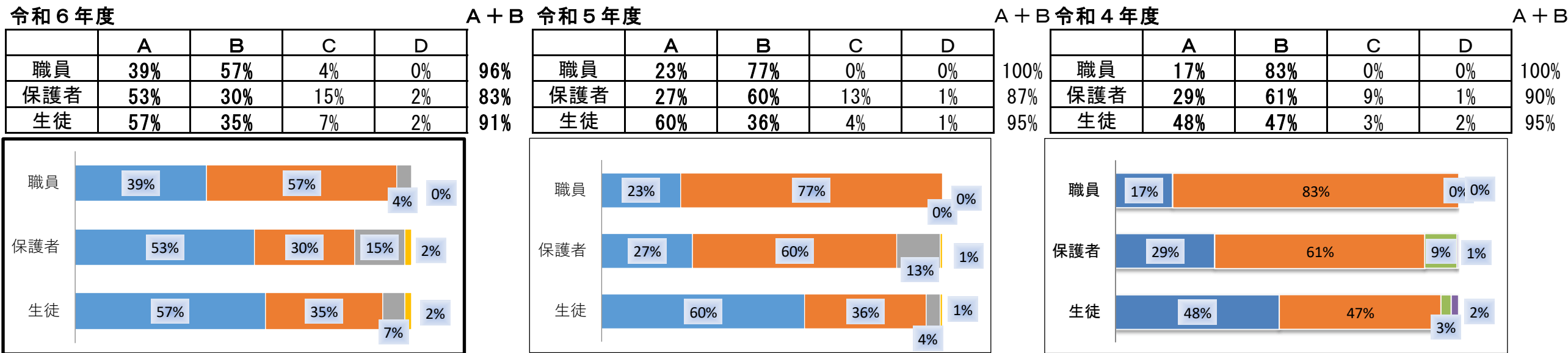


【質問項目2】 友だちとの関わり

【職員】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えさせることで、生徒が友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら学校生活を送っています。

【保護者】②生徒(お子さん)は、相手の気持ちを大切にしたり、自分の考えを相手に伝えたりすることができる。

【生徒】 ②集団の中の自分の姿や集団のあり方を考えることで、友だちの気持ちを考えたり自分の気持ちを相手に伝えたりしながら、学校生活を送っています。

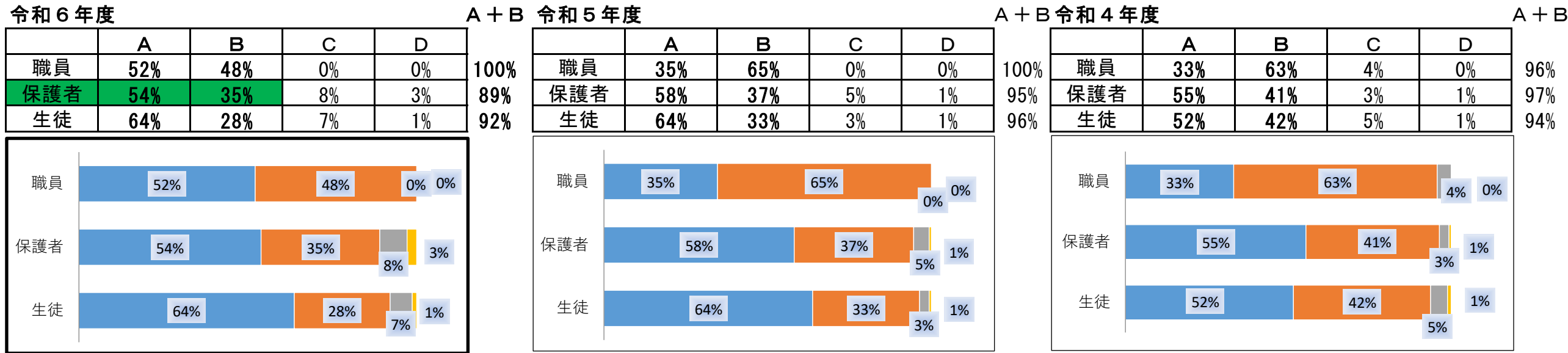


【質問項目3】 達成感や楽しさ

【職員】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、人間関係づくりの場や生徒自らが主体的に活動に取り組む場を設定することで、集団としてのまとまりが向上し、生徒一人ひとりが個々の良さを発揮できています。

【保護者】③学校での集団活動を通じて、生徒(お子さん)が成長していると感じる。

【生徒】 ③学級活動、生徒会活動、行事、部活動等で、達成感や楽しさを感じながら、自分から積極的に活動に取り組んでいます。

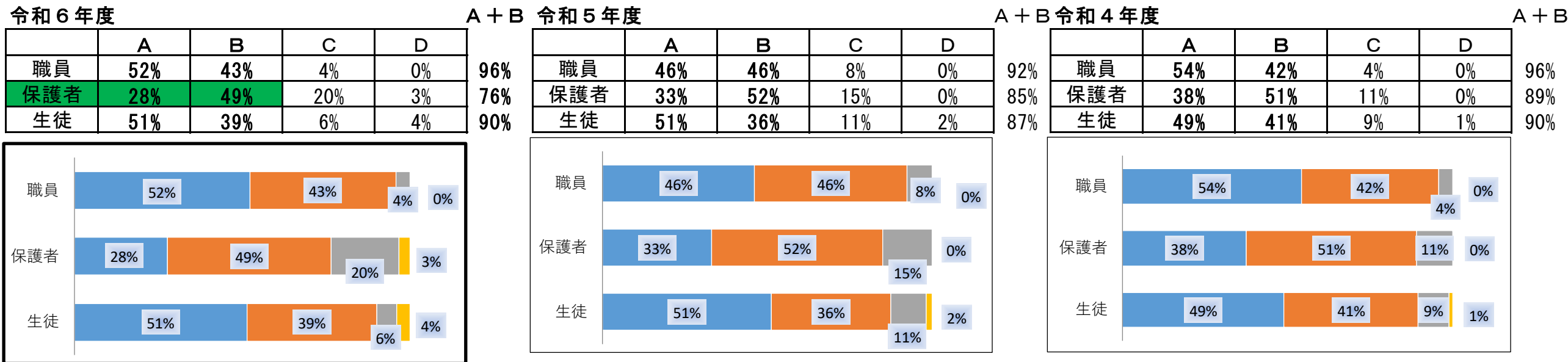


【質問項目4】 相談・生徒理解

【職員】 ④生徒を深く理解し支援するために、生徒の実態把握に努め、生徒に声をかけたり相談に乗ったりしながら、日々個々に応じたかわりを持つことができています。

【保護者】④学校の職員は生徒(お子さん)の理解に努めたり、何かあったときは相談に乗ったりしてくれます。

【生徒】 ④先生は自分のことをわかってくれたり、困った時は相談に乗ったりしてくれます。

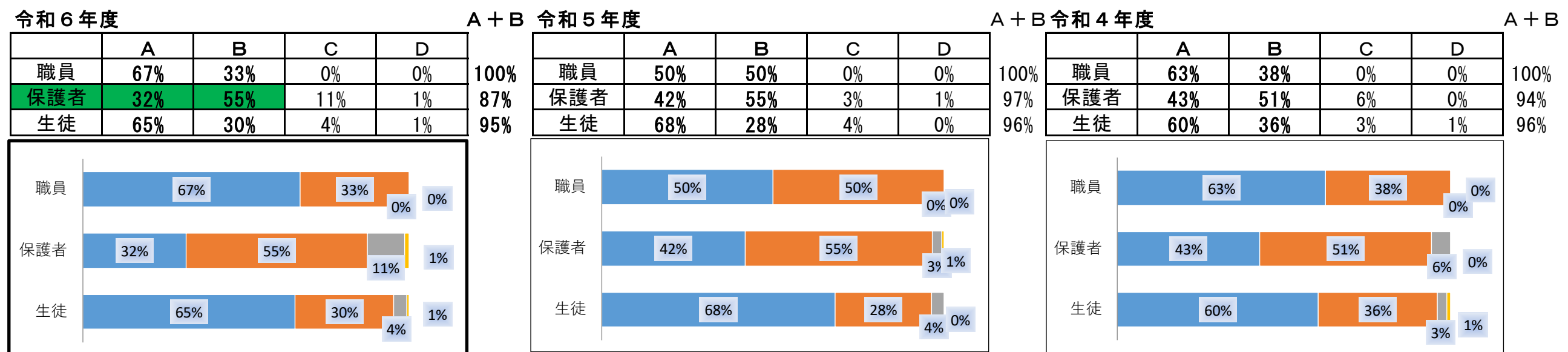


【質問項目 5】 人権教育

【職員】 ⑤人権教育や日々の教育活動の中で、生徒の人権感覚を高め、いじめや差別のない集団づくりに関わろうとする気持ちを育んでいます。

【保護者】⑤生徒（お子さん）は、人権教育での取り組みや日々の学校生活を通して、人のことを大切に思う気持ちや、いじめや差別のない集団づくりにかかわっていこうとする気持ちが育ってきていると感じる。

【生徒】 ⑤南中人権宣言を尊重し、人のことを大切に思う気持ちと、いじめや差別のない集団づくりにかかわっていこうとする気持ちを持っています。

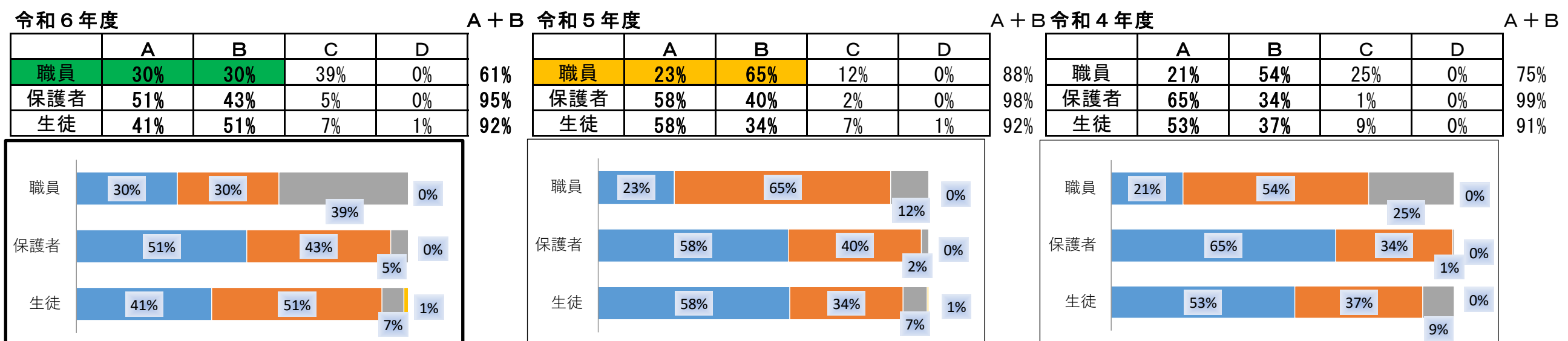


【質問項目 6】 清掃の取り組み

【職員】 ⑥清掃への取り組みの活性化を図ったり、ともに清掃に取り組んで現場指導をしたりすることで、生徒が進すすんで清掃に取り組んでいます。

【保護者】⑥来校した際は、校舎内外の清掃や整頓が行き届いていると感じられる。

【生徒】 ⑥無言清掃を心がけて、清掃にすすんで取り組んでいます。

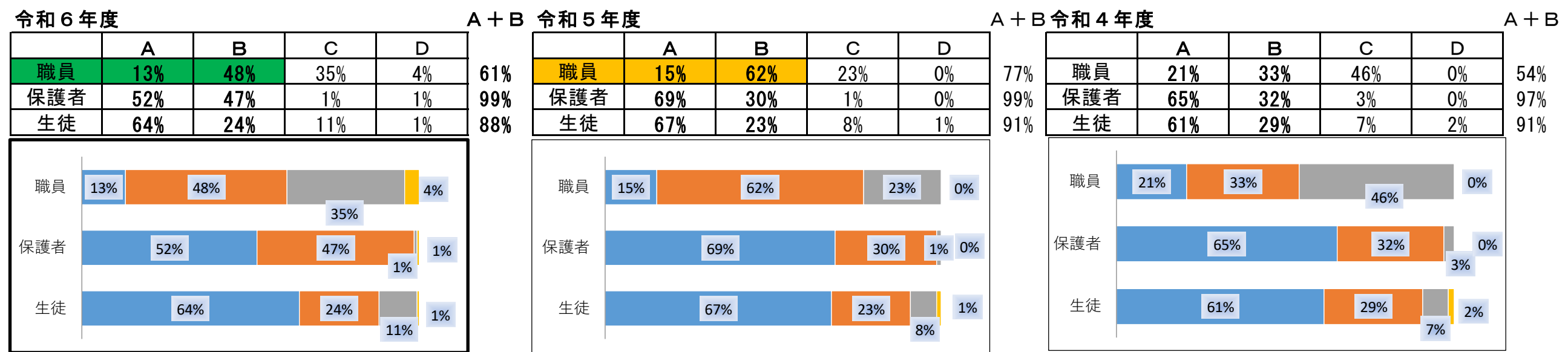


【質問項目 7】 下駄箱の靴そろえ

【職員】 ⑦声かけ等の意識喚起によって、生徒がすすんで下駄箱の靴をそろえています。

【保護者】⑦学校の昇降口は下駄箱の靴がそろったり、展示が充実したりし、気持ちのよい空間になっていると感じる。

【生徒】 ⑦自分からすすんで、下駄箱の靴をそろえています。

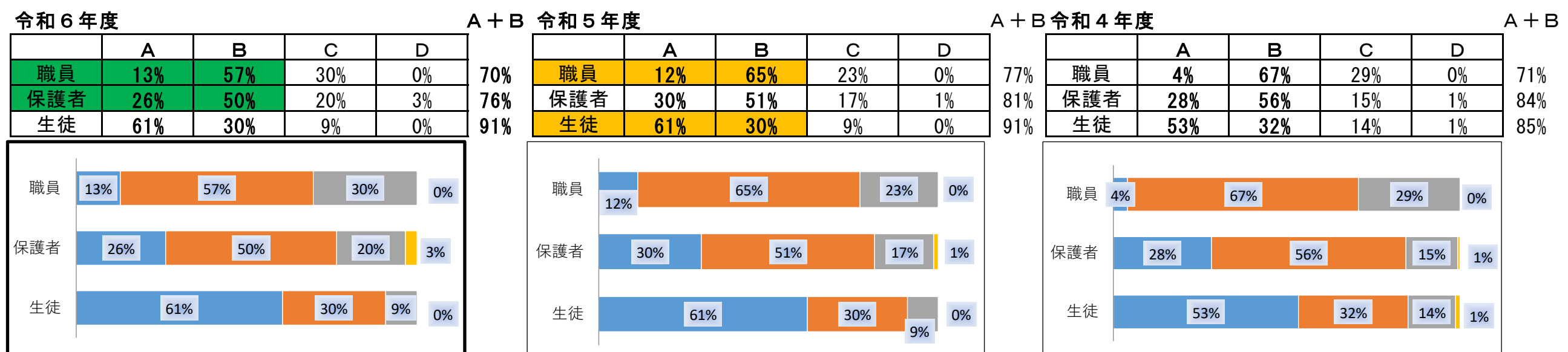


【質問項目 8】 あいさつ

【職員】 ⑧学校、学年、学級、部活動などでの指導を工夫することで、学校や地域で、生徒は一人でもすすんであいさつしています。

【保護者】⑧生徒（お子さん）は、学校や地域ですすんであいさつをしている。

【生徒】 ⑧学校や地域で、自分からすすんであいさつをしています。



【質問項目 9】 合唱活動

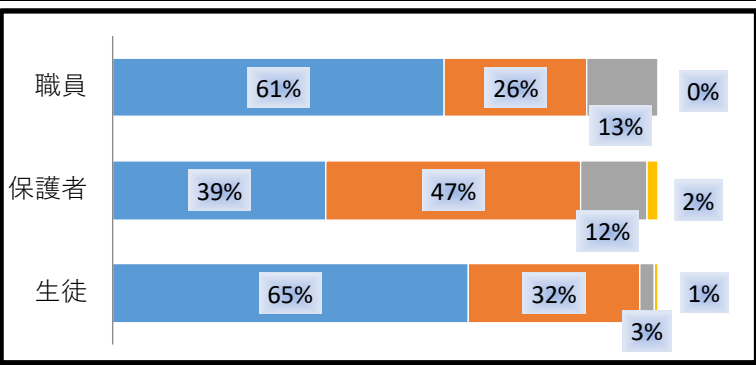
【職員】 ⑨合唱練習を学年集会や学級の活動に位置づけ、練習の時間を確保したり、発表の場を設けたり、職員自ら合唱に参加したりすることで、校内に日々生徒たちの歌声を響かせています。

保護者 ⑨文化祭や授業参観での姿、生徒（お子さん）の話から、南中の生徒は、全校、学年、学級での合唱に意欲的に取り組んでいると感じる。

【生徒】 ⑨合唱の良さや大切さがわかり、学年や学級、または集会等で、積極的に合唱に参加しています。

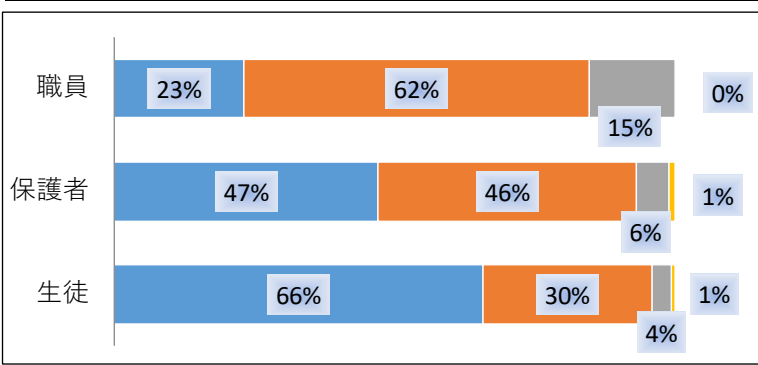
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	61%	26%	13%	0%
保護者	39%	47%	12%	2%
生徒	65%	32%	3%	1%



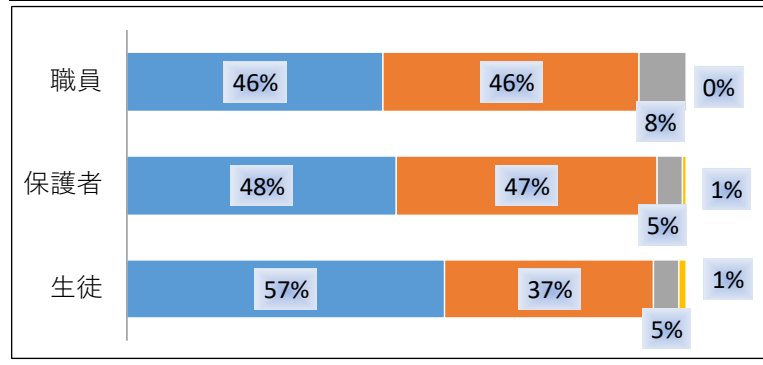
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	23%	62%	15%	0%
保護者	47%	46%	6%	1%
生徒	66%	30%	4%	1%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	46%	46%	8%	0%
保護者	48%	47%	5%	1%
生徒	57%	37%	5%	1%



【質問項目 10】 家庭学習

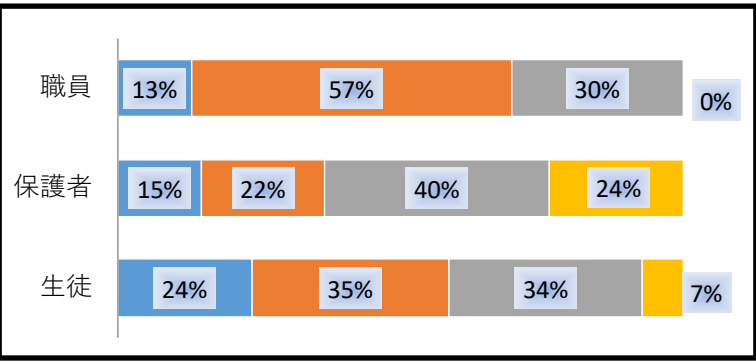
【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立てさせたり、家庭学習の方法や内容を指導したりすることで、生徒が目標時間（1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分）の家庭学習を行っています。

【保護者】⑩生徒（お子さん）は、宿題や自主学習等に、学年目標時間（1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分）の家庭学習を行っている。

【職員】 ⑩自学タイムを活用して学習計画を立て、宿題や自主学習をすることで、学年目標時間（1年週70×7=490分・2年週80×7=560分・3年週90×7=630分）家庭学習を行っています。

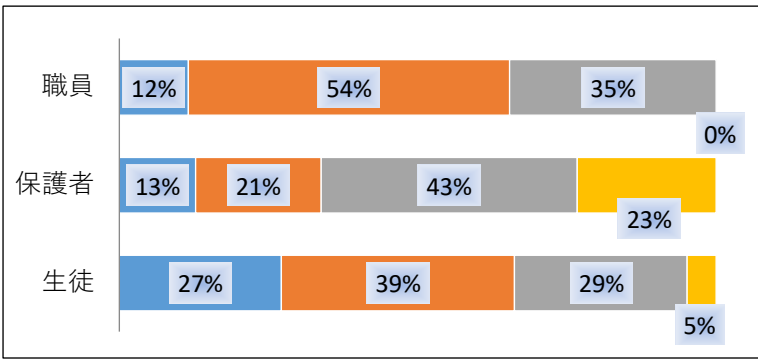
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	13%	57%	30%	0%
保護者	15%	22%	40%	24%
生徒	24%	35%	34%	7%



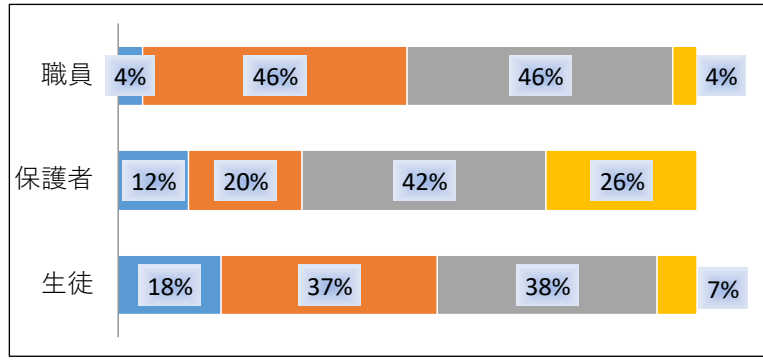
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	12%	54%	35%	0%
保護者	13%	21%	43%	23%
生徒	27%	39%	29%	5%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	4%	46%	46%	4%
保護者	12%	20%	42%	26%
生徒	18%	37%	38%	7%



【質問項目 11】 生活習慣づくり

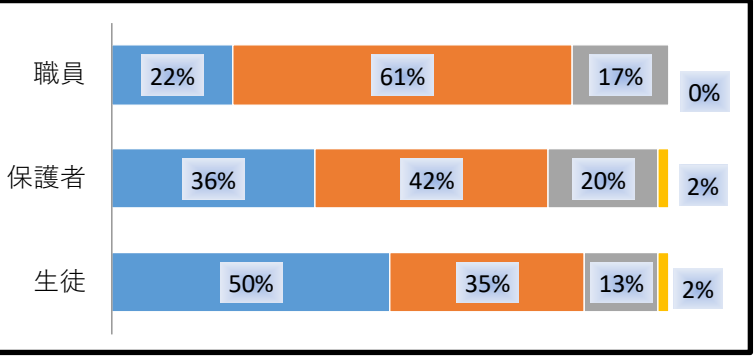
【職員】 ⑪学校からの通知や生活実態調査の結果などを活用して指導することで、生徒がより良い生活習慣づくり（「早寝・早起き・朝ごはん」）に取り組んでいます。

【保護者】⑪ご家庭で、お子さんのより良い生活習慣づくり（早寝・早起き・朝ごはん）を意識した取り組みを心がけている。

【生徒】 ⑪より良い生活習慣づくり（「早寝・早起き・朝ごはん」）に取り組んでいます。

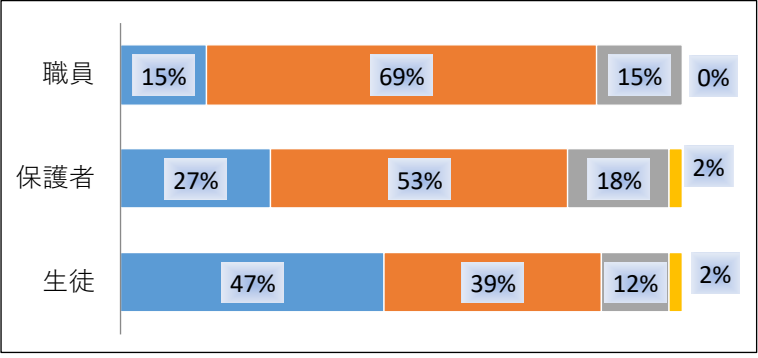
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	22%	61%	17%	0%
保護者	36%	42%	20%	2%
生徒	50%	35%	13%	2%



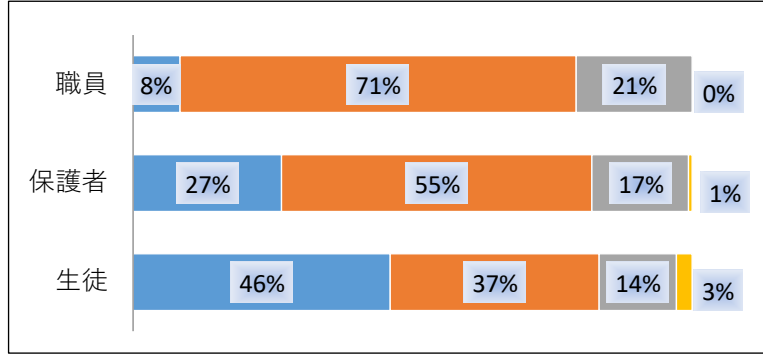
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	15%	69%	15%	0%
保護者	27%	53%	18%	2%
生徒	47%	39%	12%	2%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	8%	71%	21%	0%
保護者	27%	55%	17%	1%
生徒	46%	37%	14%	3%



【質問項目 12】 メディアコントロールの実践

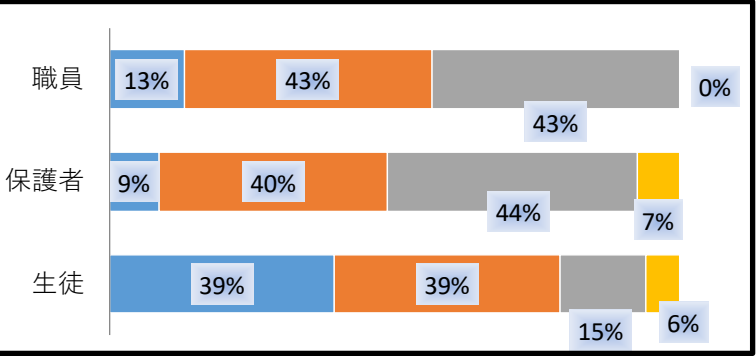
【職員】 ⑫ノーメディアの必要性を指導することで、生徒がそれぞれの目標を持ってメディアコントロールの実践に取り組んでいます。

【保護者】⑫メディアコントロールも取り組みは、家庭において家族の会話づくりや学習時間・読書時間の確保等を親子で見直す機会になっている。

【生徒】 ⑫メディアコントロールに取り組むことで、学習時間や睡眠時間の確保について見直すことができます。

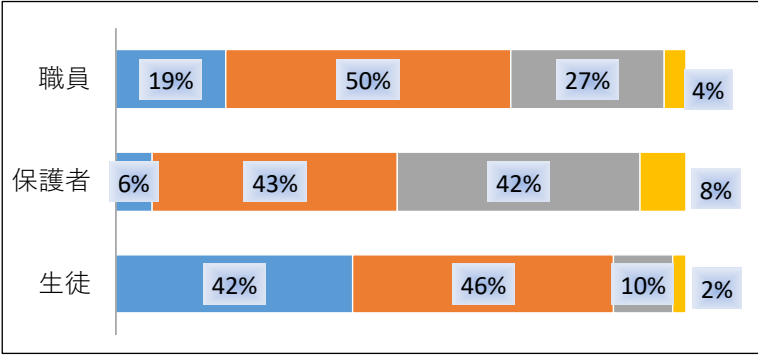
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	13%	43%	43%	0%
保護者	9%	40%	44%	7%
生徒	39%	39%	15%	6%



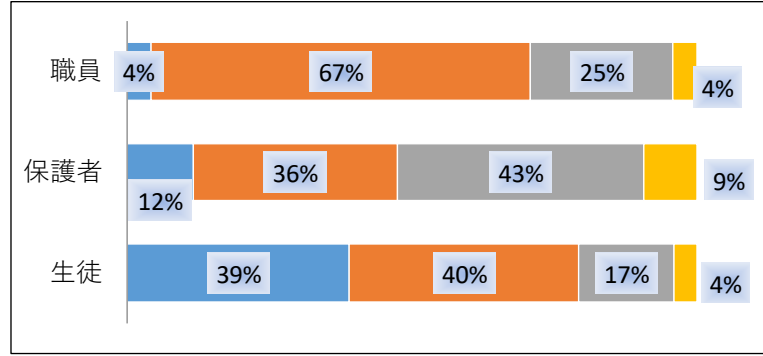
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	19%	50%	27%	4%
保護者	6%	43%	42%	8%
生徒	42%	46%	10%	2%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	4%	67%	25%	4%
保護者	12%	36%	43%	9%
生徒	39%	40%	17%	4%



【質問項目１３】 地域との連携

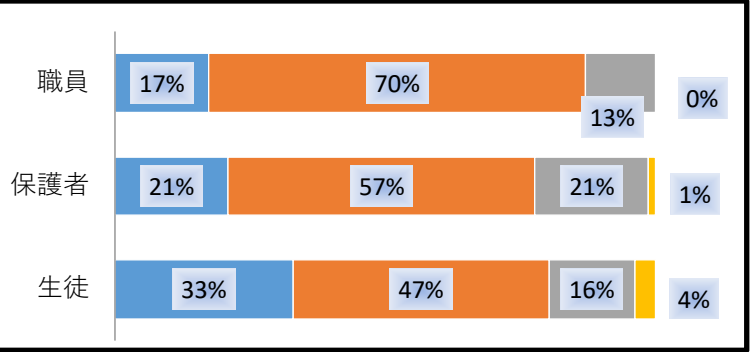
【職員】 ⑬地域との連携を大切にして、教育活動を推進したり、地域の方々と交流したりしています。

【保護者】⑬お子さんの成長のためにご家庭では、学校や地域との連携を大切にしている。

【生徒】 ⑬依田窪地域の自然や農業、工業、商業、観光などについて興味や関心をもてています。

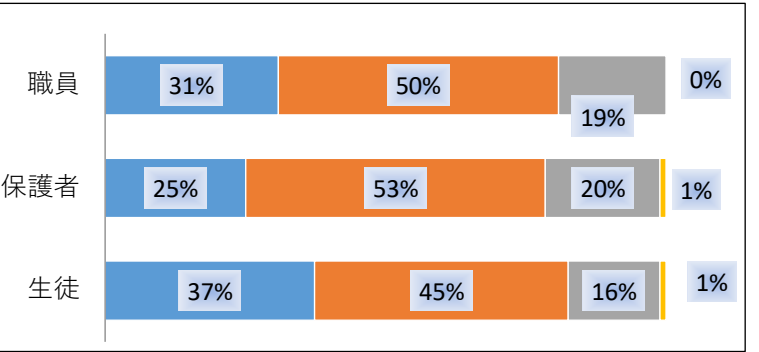
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	17%	70%	13%	0%
保護者	21%	57%	21%	1%
生徒	33%	47%	16%	4%



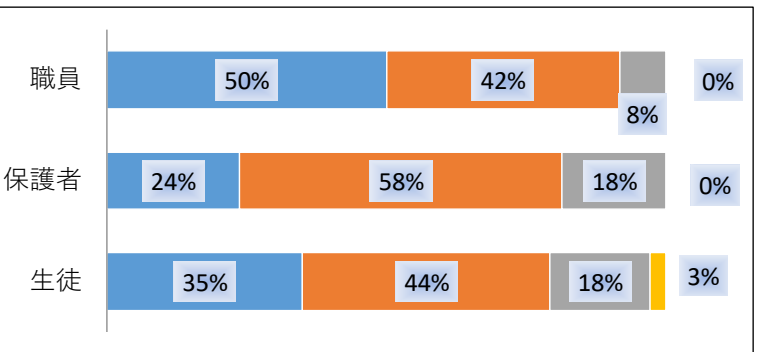
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	31%	50%	19%	0%
保護者	25%	53%	20%	1%
生徒	37%	45%	16%	1%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	50%	42%	8%	0%
保護者	24%	58%	18%	0%
生徒	35%	44%	18%	3%



【質問項目１４】 総合的な学習の時間（地域学習・キャリア教育）

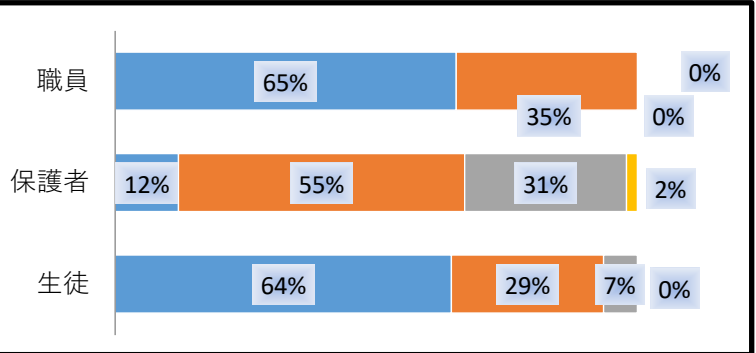
【職員】 ⑭1年：地域発見，２年：職場体験，３年：地域未来プロジェクトの学習を通して、子供たちにこの地域のよさを実感できるようにしています。

【保護者】⑭生徒（お子さん）は、総合的な学習や行事を通じて地域に関心をもつようになってきたと感じる。

【生徒】 ⑭1年：地域発見，２年：職場体験，３年：地域未来プロジェクトなどの学習を通して、この地域のよさを発見したり、実感したりすることができています。

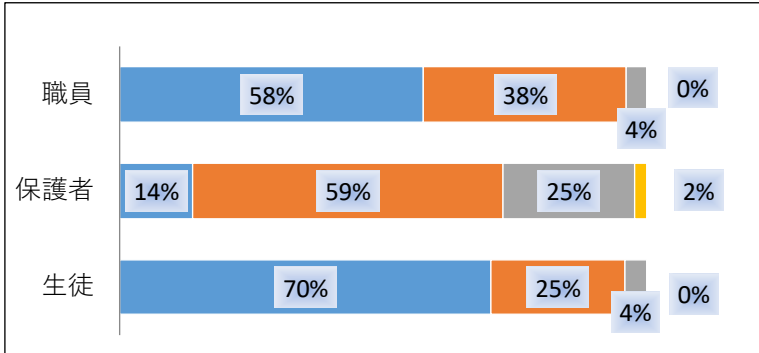
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	65%	35%	0%	0%
保護者	12%	55%	31%	2%
生徒	64%	29%	7%	0%



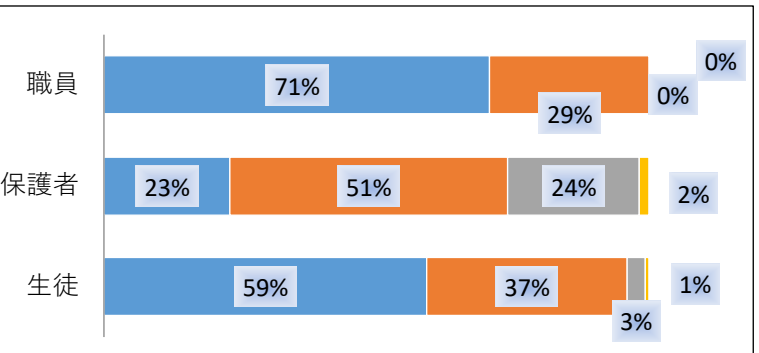
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	58%	38%	4%	0%
保護者	14%	59%	25%	2%
生徒	70%	25%	4%	0%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	71%	29%	0%	0%
保護者	23%	51%	24%	2%
生徒	59%	37%	3%	1%



【質問項目１５】 家庭との連携

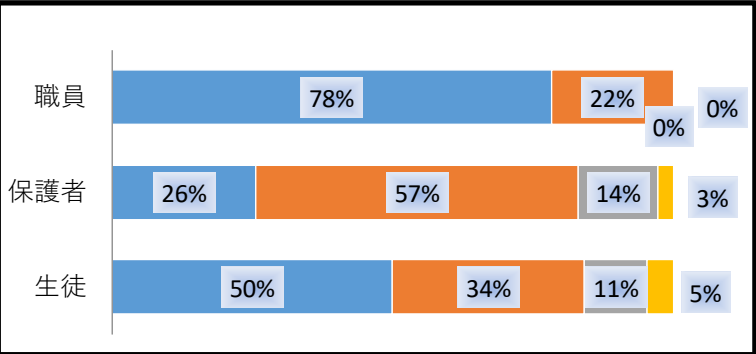
【職員】 ⑮保護者の話をよく聞き、家庭と協力しながら生徒を育てることを大切にしています。

【保護者】⑮学校職員は、子どもや保護者の話をよく聞き、子どもや家庭に対して適切な対応をしている。

【生徒】 ⑮家の人と学校での出来事や将来について話すことがあります。

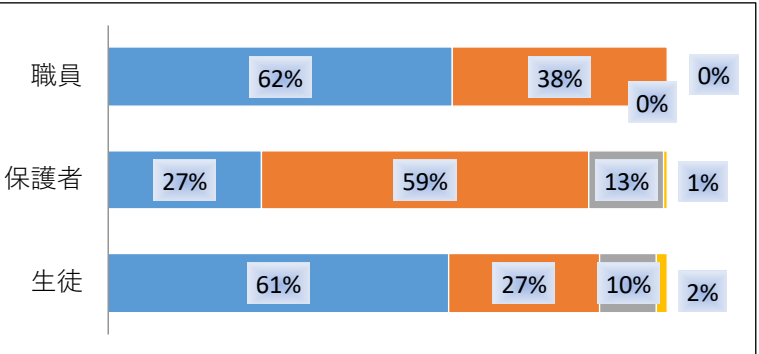
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	78%	22%	0%	0%
保護者	26%	57%	14%	3%
生徒	50%	34%	11%	5%



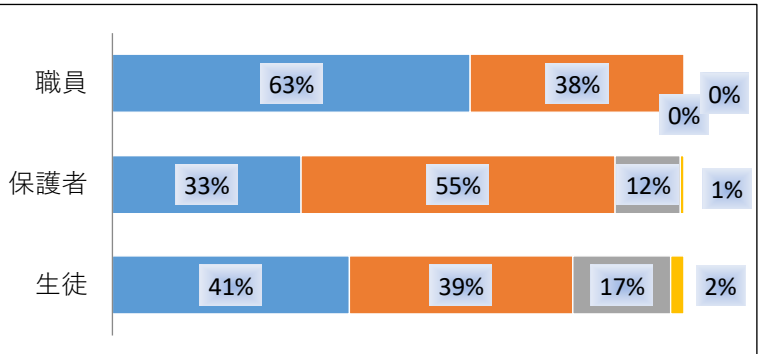
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	62%	38%	0%	0%
保護者	27%	59%	13%	1%
生徒	61%	27%	10%	2%



A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	63%	38%	0%	0%
保護者	33%	55%	12%	1%
生徒	41%	39%	17%	2%



【質問項目１６】 家庭との連携（参観日・学校開放）

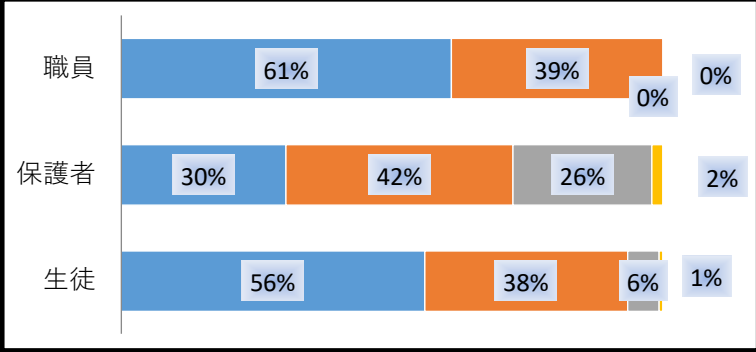
【職員】 ⑯参観日や学校開放日や懇談会などを通して、本校への理解や関心を高めてもらえるよう、努めています。

【保護者】⑯参観日や学校開放日や懇談会などの機会には、学校への理解や関心を高めるために、積極的に参加している。

【生徒】 ⑯親や家族は学校での活動や行事に関心をもって来ています。

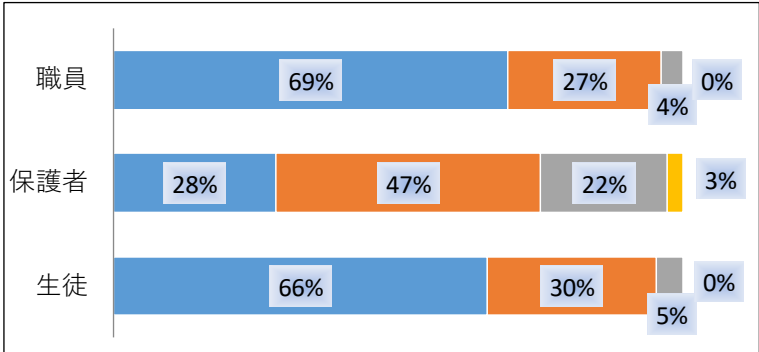
令和 6 年度

	A	B	C	D
職員	61%	39%	0%	0%
保護者	30%	42%	26%	2%
生徒	56%	38%	6%	1%



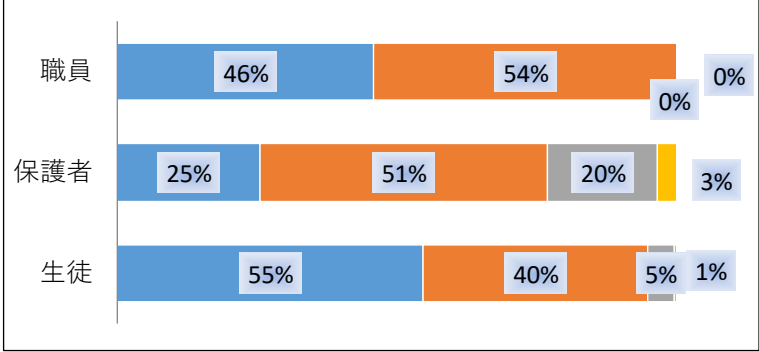
A + B 令和 5 年度

	A	B	C	D
職員	69%	27%	4%	0%
保護者	28%	47%	22%	3%
生徒	66%	30%	5%	0%

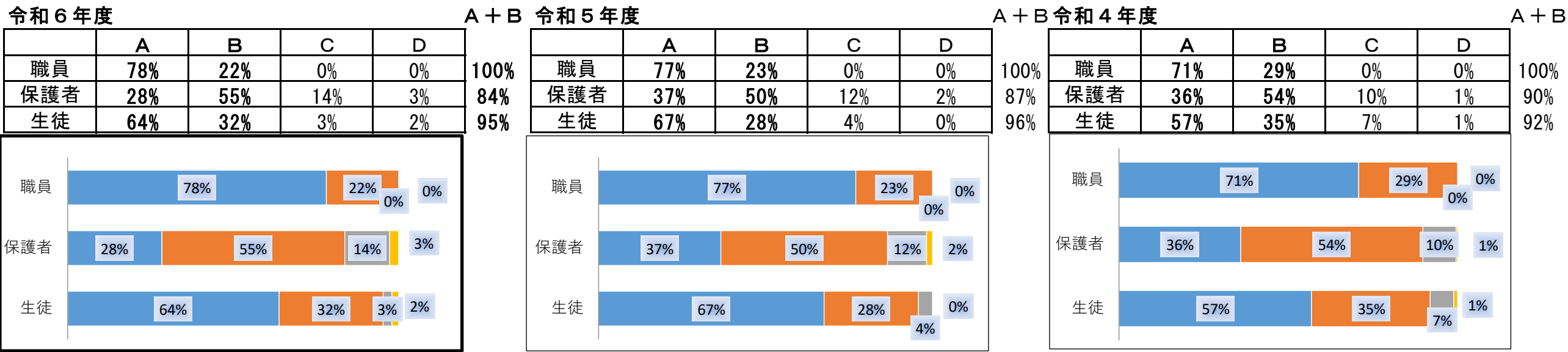


A + B 令和 4 年度

	A	B	C	D
職員	46%	54%	0%	0%
保護者	25%	51%	20%	3%
生徒	55%	40%	5%	1%



【質問項目１７】 学校からの情報発信
【職員】 ⑰学校・学年・学級だよりなどで、大切な情報や学校での子供たちの様子を、家庭にわかりやすく伝えています。
【保護者】⑰学校・学年・学級だよりやホームページ等に目を通し、学校の様子を知るよう心がけている。
【生徒】 ⑰学年・学級だよりは、学校の様子を家に伝えてくれるよい手段になっていると思います。



＜考察＞

【集団づくり】

○三者ともに、「よくあてはまる」「ややあてはまる」のＡＢ評価が高水準を示している。反面、一人一人の生徒に注視すると集団生活を送る上で悩みや不安を抱えている生徒もいる。生徒、職員、保護者の連携を密に取りながら、生徒の学校生活を支える支援を大切にしていきたい。
○学校生活に充実感を持っている生徒多くいる一方、達成感を持てていない生徒もいる。生徒会活動や日頃の授業、学校行事などを通して、達成下院を感じることも大切にしていきたい。
○職員は生徒一人一人の個に応じた支援を積み重ねていくとともに、生徒との関係のみならず、保護者との信頼関係をよりていねいに築き、開かれた学校づくりに努めていく。

学校への並々ならぬ保護者の皆様のご協力やご支援がありましたことを、心より感謝します。

【習慣づくり】

○清掃と下駄箱の靴そろえについて、保護者と生徒のＡＢ評価は、昨年度とほぼ同水準で高い。生徒と共に活動したり、生徒への声がけをしたりして、生徒の活動をさらに活性化するとともに、良好な学習環境を整える役割を担っていることを自覚していきたい。さらに、生徒会活動とも連携し、黙想から片付けまで集中して取り組める清掃することを実践したい。
○家庭学習について今年度も三者ともに大きく低水準となった。職員や生徒が感じていることと保護者が感じていることには開きがあり、家庭学習のあり方について再考していかなければならないと考える。家庭学習を通してどのような力をつけるのか子ども自身が理解できるよう支援したい。また、学校と家庭の連携を密にとり、家庭での様子や学校での様子の情報交換を行いながら、より有効な家庭学習となるよう努めたい。
○自ら進んであいさつをするという項目では、生徒の評価が高いが、職員や保護者の評価は高くない。あいさつはコミュニケーションの第一歩であることやどのようなあいさつが気持ちの良いあいさつであるか生徒会とタイアップしながら考えることも大切にしたい。
○より良い生活習慣づくりとメディアコントロールについては、全体的に低い水準となっている。子どもと直に接している保護者の評価がやや厳しく、ＡＢ評価が半分以下となっている。他の調査結果から、一部の生徒の顕著なメディア依存や、家庭内でのルールづくりなどが課題となっていることが分かる。今年度も取り組んだメディアコントロールデーの意義を明確にし、生徒一人一人がメディアとどのように接していくべきか判断できるよう支援する。また、情報化社会を生き抜く生徒にとって、ＳＮＳやメディアとは切っても切れないものであると言える昨今、どのよう付き合っていくか、生徒自身が考え、判断し、関わっていける力がつくよう支援したい。

【家庭や地域との連携】

○質問項目１４の総合的な学習(地域学習・キャリア学習)、職員と生徒のＡＢ評価が高評価になっている。特に、計画 → 実行 → 発表・反省という流れでの学習に対して、積極的に取り組む生徒の姿が多く見られた。また、ともに地域で生きる方々や保護者からの適切なアドバイスが学習をより効果的なものにした。
１５参観日・授業開放、１６家庭との連携（参観日・学校開放）、１７学校からの情報発信の項目全てについて、昨年度比で保護者のＡＢ評価がダウンしている。、保護者の学校や地域社会に対する意識が一層高まり、子どもへの数々の支援が、学校や地域社会と連携・協力しながら実行されているという様子を考察することができる。
○学校と家庭の連携では、こう評価を頂いている一方、ややあてはまらない、あてはまらないと回答いただいた家庭も多くあった。家庭との連携を密にできていると感じている職員とのずれがあることも確かである。些細な変化であっても連絡を入れることや話を聞くというスタンスで学級や学校経営をしていることを幾度となくお伝えしていきたい。

2. 生徒・保護者の皆様からの意見について

「地域とともに歩む学校」を推進する学校運営に対しまして、保護者の皆様より多くのご賛同、ご支援いただいておりますことに感謝申し上げます。
「生徒の個性を尊重した対応をしていただき、ありがたい」などという旨の記入がたくさんあり、職員一同勇気と元気をいただきました。また、生徒の皆さんからも貴重なご意見をいただきました。
以下のご意見・ご指摘いただいた点につきましては、今後、検討・改善をしてまいります。

（１）通学・スクールバスについて

・バスの乗車時間が早く、学校に着いてから授業が始まるまでの時間が長いので乗車時間をもう少し遅くしてほしい。貴重なご意見ありがとうございます。朝のバスについては、上田駅行きの路線バス運行時間とも関係しており、調整が難しいようです。しかしながら、学校の時間とできるだけ合わせていただきたい旨をJRバスにもお伝えしたいと思います。

（２）通学路について

・今年度通学路について、保護者、生徒からのご意見はありませんでした。しかし、今後も継続して、街灯がないところや危険な場所を教育委員会にも要望も伝えていきたいと思います。

（３）部活動について

・今年度部活動について、保護者、生徒からのご意見はありませんでした。今後の方針として、令和８年度より休日の部活動が地域移行となる予定です。地域の方にご協力いただくことになる際にはお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

（４）授業について

・先生による授業内容のわかりやすさについてのご意見をいただきました。各教科での話し合いをより多くし、どの先生が授業を行っても子どもの学びが統一されるよう今後も務めていきます。

（５）その他

・生徒から学校 みんなが気持ちよく生活するためにはどうしたら良いかということに、「南中人権宣言を大切にする」「元気よくあいさつをする」「陰口や悪口を言わない」「お互い挨拶をしたり気持ち良い会話をする」「相手のことを考えながら生活する」など前向きで建設的な意見をいただきました。貴重な意見です。ありがとうございます。これからの学校生活を送る上で、生徒会や学級会などで考えていきたいと思います。

・教員が生徒に親身に向き合ってほしい、生徒に寄り添ってほしいという意見を頂きました。生徒一人一人を大切にし、話を聞くスタンスを職員の中でもう一度確認させていただきます。それでも心配なことがあれば、遠慮なく学校にご連絡ください。貴重な意見ありがとうございます。

・参観授業についてのご意見を頂きました。できるだけ違う教科の授業を見ていただけるよう工夫したいと思います。参観日は１日公開ですのでぜひ都合をつけて足を運んでいただければと思います。

・体操服や上履きについてのご意見を頂きました。経済的負担の視点やジェンダーの視点からも今後要検討していかなければなりません。生活指導係中心に検討を進めてまいります。

・長期休みの学校開放や受験生を対象とした補習についてご意見いただきました。どのようなことができそうか精査しながらできる範囲で取り組みたいと思います。

・冷暖房についてのご意見を頂きました。今後も暑い日が続いたり、寒い日が多くなったりした場合、冷暖房を適切に使用したいと思います。光熱費の高騰もあり、節約できるところでは節約も取り組みたいと思います。

・保護者から「いつも子供がお世話になりありがとうございます」「日々生徒一人一人と熱心に向き合って下さりありがとうございます」など日々の教育活動に対する感謝のお言葉を多くいただきました。しかし、注意の仕方や内容、生徒とのかかわり方についてのご意見もいただきました。ご意見を真摯に受け止め今後の教育活動に励んでいくとともに、保護者や地域との連携をより密にし、開かれた学校づくり、よりよい教育が提供できるよう努めてまいります。